

■ルール概要

各言語の生成パネルは、以下の観点から言語ルール案を作成します。

- レポートリーの定義
 - * その言語で使われる文字のうち、ラベル申請時に使用してよい文字の一覧
- 異体字の組の定義
 - * 同一文字の複数の表記（意味、発音が同一で、置き換えが可能な文字の組）
 - * 視覚的類似
- 文字特性の定義
 - * 文字位置や連続性などに制約がある文字の特性（日本語の場合は、捨て仮名、踊り字、長音記号など）
- 異体ラベル（異体字の置き換えによってできるラベル）の登録可否判定ルールの定義
 - * 異体ラベルをTLDとして登録可能か、登録不可かの判定
 - * レポートリーに定義されていない文字が含まれる場合はラベルとして認められない
 - * 登録可能である場合、元の申請者のみが登録できるが、必ず登録しなければならないわけではない

各言語のルール案の検討や概要を、日本語ラベルのルールを例に紹介します。

■日本語ラベルのルール検討

日本語ラベルのルール案の検討は、「日本語生成パネル (JGP : Japanese Generation Panel)^{*6}」により行われました。日本語生成パネルは、国際化ドメイン名に関する有識者、言語専門家、レジストリ専門家らで構成されました。JPRSからも、日本語JPドメイン名のサービス設計・提供及び運用の経験で得た知見を活かして数名が参画しました。

ルール案の検討には、日本語と同様に漢字を使う中国語と韓国語の生成パネル間で整合性を取る必要がありました。そのため、日本語生成パネルは、中国語生成パネル (CGP : Chinese Generation Panel)、韓国語生成パネル (KGP : Korean Generation Panel) と漢字の異体字の定義について意見交換を行いながら、ルール案の作成を進めました。

日本語生成パネルは、中国語生成パネルや韓国語生成パネル、統合パネルと調整後、2021年9月にルール案の提案書をICANNに提出しました。提案書は、パブリックコメントの手続きを経て、統合パネルによる最終評価を終え、2022年5月26日、ルートゾーンLGRに統合されました。

■日本語ラベルのルール概要

日本語ラベルのルール（日本語用ルートゾーンLGR）の概要は以下の通りとなります。

- レポートリーはJIS第1水準、第2水準の平仮名・片仮名・漢字・一部の準漢字からなる6532文字とする
- 日本語用ルートゾーンLGRでは各文字に日本語独自の異体字（意味・発音に由来する）を定義しないが、中国語用ルートゾーンLGRや韓国語用ルートゾーンLGRが定義する漢字の異体字を取り込む
- 視覚的類似文字に由来する異体字は、誤認発生が明らかなもののみ定義する
- 登録可能なTLDは申請されたラベルのみとし、異体字ラベルは登録できない
- 捨て仮名（「っ」「ょ」などの小さい仮名）・踊り字（「々」「ゝ」など）・長音記号（「ー」）はラベルの先頭に使えない

以下は、視覚的類似性を根拠として定義された12組の異体字です（括弧内はUnicodeの文字固有番号 (Code Point)）。

平仮名	片仮名	漢字
へ (U+3078)	へ (U+30D8)	
べ (U+3079)	べ (U+30D9)	
ぺ (U+307A)	ぺ (U+30DA)	
	二 (U+30CB)	二 (U+4E8C)
	力 (U+30AB)	力 (U+529B)
	ハ (U+30CF)	ハ (U+516B)
	ト (U+30C8)	ト (U+535C)
	口 (U+30ED)	口 (U+53E3)
	夕 (U+30BF)	夕 (U+5915)
	エ (U+30A8)	エ (U+5DE5)

記号文字	漢字
ー (U+30FC)	一 (U+4E00)
ゝ (U+30FD)	丶 (U+4E36)

漢字ラベルの異体ラベルの取り扱いに関しては、漢字ラベルを日本語や韓国語、中国語のどの言語として申請するかによって異なります。ICANNは、登録可能なラベルや異体字の取り扱いを確認できるように、公開しているルートゾーンLGRを参照し、ラベルを検証できるツール (LGR Tool^{*7}) をWebサイトで提供しています。

なお、ICANNは、ルートゾーンLGRを参考に、gTLD用のセカンドレベルドメイン (SLD) におけるラベルのルールのひな型を作成しています^{*8}。

^{*6} <https://j-gp.jp/>

^{*7} <https://www.icann.org/resources/pages/lgr-toolset-2015-06-21-en>

^{*8} <https://www.icann.org/resources/pages/second-level-lgr-2015-06-21-en>